

(社) 日本溶接協会神奈川県支部 50年の歩み

(一般社団法人神奈川県溶接協会)

—— 神奈川県支部設立打合せ会 (神奈川県商工部が発起人の中心となる)

昭和30年
(1955年) 昭和30年12月7日 ・会場 横浜貿易協会第1会議室
挨拶 神奈川県商工部長

神奈川県支部設立準備会

昭和31年
(1956年) 昭和31年8月28日 ・会場 横浜貿易協会第1会議室
県商工部長・工務課長主催

1

年度 4月～3月	主な出来事	支部長	団体会員数 (会社・工場)	評価試験 受験者数	その他の主な事業	全国溶接技術競技会 神奈川県代表 優勝者
昭和32年 (1957年)	設立総会 3月9日 神奈川県水産会館 挨拶 県商工部長 事務局を神奈川県商工部 工務課内に置く (常任理事 工務課長が兼務) 事務局員は県の職員が兼務 昭和39年3月まで	柴田 晴彦	74社	54名	<ul style="list-style-type: none"> ・手溶接受験準備講習会(学科・実技)の実施 現在に至る ・技術講習会『アルゴンアーク溶接及びアークエアガウジング法』 	全国都道府県支部溶接コンクール 現・全国溶接技術競技会に参加し 現在に至る
昭和33年 (1958年)		柴田 晴彦	97社	68名	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回 神奈川県溶接技術コンクール 神奈川県及び支部共催 会場 神奈川県工業試験場 ・講習会『軟鋼用溶接棒について』講演と実習及び映画 ・講習会『炭酸ガス 酸素アーク溶接について』講演と実演 ・講習会『ステンレスの溶接について及びハードフェーシング溶接 について』講演と実演 ・非破壊講習会『溶接部に対する超音波探傷法について』 ・研究会『溶接工の安全について』講演及び器具の展示解説 	日立造船(株)神奈川工場 手溶接 鈴木茂克
昭和34年 (1959年)		三上 博	105社	173名	<ul style="list-style-type: none"> ・講習会『やさしいアーク溶接』テキストとして講義 ・溶接技術講習会『溶接作業と溶接棒の合理的な選択と使用について』 『特殊鋼の溶接並びに補修溶接の施工要領について』 『鋳物の溶接について』 	
昭和35年 (1960年)		三上 博	113社	不明	<ul style="list-style-type: none"> ・溶接技術相談の開始 相談件数8件 	
昭和36年 (1961年)		三上 博	120社	200名	<ul style="list-style-type: none"> ・溶接技術講習会『アークエア法について・交流アークエアガウジング法の 実際について・ドイツに於けるろう付けの現状について』 ・アーク半自動溶接機の講習会 『イナートガス溶接一般について』 『炭酸ガスシールド半自動溶接について』 『アークアーク溶接法の実際について』 ・講習会 『最新の特殊溶接並びにその溶接装置について』 高張力鋼及び低温用鋼材について・最近の新しい溶接法について 炭酸ガス溶接法について 	
昭和37年 (1962年)		三上 博	129社	223名	<ul style="list-style-type: none"> ・アーク溶接技術講習(研究会)及び見学会 『溶接一般について』及び実技指導 (株)神戸製鋼所藤沢工場 	

年度 4月～3月	主な出来事	支部長	団体会員数 (会社・工場)	評価試験 試験会場 受験者数	その他の主な事業	全国溶接技術競技会 神奈川県代表 優勝者
昭和38年 (1963年)		三上 博	140社	290名	・講習会『半自動溶接装置実演及び講演会』 半自動溶接法の原理と利点・溶接機器・溶接条件・応用分野等について ・アーク溶接技術講習(研究会)会及び見学会 『アーク溶接の基礎的理論・新しい溶接技術・溶接棒の選び方・実演・見学』 富士溶接棒(株)相模原工場・神奈川県工業試験所	
昭和39年 (1964年)	昭和40年3月から 事務局を 農業機械会館内に移す	三上 博	198社	284名	・技能オリンピック県予選を受託昭和47年まで ・技術講習会『被覆アーク溶接法について』 ・講演並びに実演の会『ヨーロッパに於ける自動・半自動溶接の現況』 ・実演『自動・半自動溶接の新しい技術の紹介実演』 ・見学会『日本鋼管(株)鶴見造船所・鶴見製鉄所・東芝科学館』	
昭和40年 (1965年)		三上 博	218社	555名	・検定試験年4回 ・見学会『神奈川県横浜工業技術職業訓練所・ 神戸製鋼所(株)藤沢工場・いすゞ自動車(株)藤沢工場』 ・講演会『CSアーク半自動溶接技術講習会』 ・見学会『神奈川県横浜工業技術職業訓練所・神戸製鋼(株)藤沢工場 いすゞ自動車(株)藤沢工場』	東京芝浦電気(株)トランジスタ工場 ガス溶接 清 一夫
昭和41年 (1966年)	事務局を 日本輸出雑貨センターに移す	三上 博	228社	613名	・検定試験年10回 ・溶接基礎技術講習会 ・見学会『(株)会田鉄工所・日本電気(株)相模原工場・富士溶接棒(株)』	
昭和42年 (1967年)	支部創立10周年記念式典 記念講演 三鬼陽之助 『最近の経済動向について』	三上 博	238社	872名	・この年から検定試験を毎月実施する ・ガス溶接技能講習会募集業務を開始現在に至る ・見学会『東急車輛製造(株)・浦賀重工業(株)浦賀工場』	
昭和43年 (1968年)		三上 博	248社	983名	・講習会『半自動アーク溶接基本技術講習会』 ・講習会『溶接技術指導者講習会』 ・見学会『東京芝浦電気(株)タービン西工場・ 千代田化工建設(株)川崎工場・東芝科学館』	
昭和44年 (1969年)		三上 博	250社	1060名	・講演会『国内に於ける溶接技能競技会の状況について』 『海外の溶接技能競技会(技能五輪)について』 ・見学会『国際ウェルディングショー』	
昭和45年 (1970年)		三上 博	255社	1030名	・講習会『溶接技術指導者講習会』アーク溶接の問題点と考え方 ・講演会『最近の溶接技術の傾向について』横須賀地区対象	
昭和46年 (1971年)	事務局を(財)日本溶接技術 センターに移す	三上 博	277社	1288名	・講習会『溶接技術指導者講習会』アーク溶接の問題点と考え方 ・見学会『三菱重工業(株)横浜造船所本牧工場・ 日本石油精製(株)根岸製油所・東京芝浦電気(株)浜川崎工場』	
昭和47年 (1972年)		三上 博	301社	1247名	・講習会『溶接技術指導者講習会』溶接技術について 半自動溶接講習会の実際について ・見学会『相模原機械金属工業団地・キャタピラー三菱(株)・ セントラル自動車(株)相模原工場』	
昭和48年 (1973年)		三上 博	309社	1291名	・アーク溶接特別教育の開始現在に至る ・講習会『溶接技術指導者講習会』アーク溶接の問題点と考え方 溶接技術について(ガス溶接を含む) ・技能オリンピック県予選を返上する	

年度 4月～3月	主な出来事	支部長	団体会員数 (会社・工場)	評価試験 試験会場 受験者数	その他の主な事業	全国溶接技術競技会 神奈川県代表 優勝者
昭和49年 (1974年)		三上 博	315社	1863名	・建設省告示1308号による工場調査受託 ・見学会『日本鋼管(株)鶴見造船所・(株)東芝鶴見工場・ 昭和石油(株)川崎製油所』 ・講習会『溶接技術について・アーク溶接の問題点と考え方』	
昭和50年 (1975年)	この年で県補助金カット	三上 博	323社	2627名	・講習会『溶接棒の選び方・使い方』 ・見学会『富士電機(株)川崎工場・東芝科学館・ (財)日本溶接技術センター』	三菱重工業(株)横浜製作所 手溶接 熊倉益男
昭和51年 (1976年)		三上 博	328社	2006名	・講習会『溶接管理について』 ・見学会『三菱電機(株)鎌倉製作所・東急車輛製造(株)』	
昭和52年 (1977年)		三上 博	336社	2009名	・半自動溶接受験準備講習会を開始現在に至る ・ロウ付け技術受験準備講習会を開始現在に至る ・講演会『溶接構造物に関する講演会』 ・見学会『日本鋼管(株)京浜製鉄所扇島工場』	
昭和53年 (1978年)		三上 博	328社	3377名	講演会『鉄骨構造物の溶接のあり方』 見学会『いすゞ自動車(株)藤沢工場』	
昭和54年 (1979年)		三上 博	324社	3300名	・ステンレス鋼溶接受験準備講習会を開始現在に至る ・『粉じん作業特別教育』を開始現在に至る ・講演会『高張力鋼の溶接割れについて』 ・見学会『職業訓練大学校』	
昭和55年 (1980年)		三上 博	333社	3347名	・講習会『現場に役立つ炭酸ガス半自動 アーク溶接法の理解と溶接機の管理』 ・見学会『(株)アマダ(アマダホール)』	三菱電機(株)鎌倉製作所 手溶接 鎌倉広喜
昭和56年 (1981年)		三上 博	349社	4172名	・講演会『アーク溶接ロボットの講演と実演の会』 ・講演会『地震と溶接構造物』 ・見学会『東急車輛製造(株)』	
昭和57年 (1982年)	創立25周年記念式典 記念講演 商工部次長 内田均 『昭和57年度神奈川県 商工施策について』	三上 博	354社	4880名	・講演会『アーク溶接ロボットの講演と実演の会』 ・見学会『(株)東芝浜川崎工場・東芝科学館・ 新明和工業(株)東京サービスセンター』	三菱電機(株)鎌倉製作所 手溶接 松田 浩
昭和58年 (1983年)		三上 博	342社	4479名	・講演会『拡散溶接の現状について』 ・講演会・見学会『新しい溶接自動化の具体例に関する実演・解説会』	
昭和59年 (1984年)		三上 博	331社	4458名	・講演会『ヨーロッパの企業視察を終えて』	
昭和60年 (1985年)		三上 博	331社	4657名	・講演会『溶接構造物の破壊事故について』 ・見学会『ファナック(株)』	
昭和61年 (1986年)		三上 博	343名	4590名	・技術講習会『現場に役立つマグ [®] 及びパルスマグ [®] ・半自動溶接法とその溶接機器の管理・取り扱い』 ・見学会『'86国際ウエルディングショー』	
昭和62年 (1987年)		三上 博	330社	4984名	・講演会『界面接合技術の現状と課題』	
昭和63年 (1988年)		三上 博	339社	4884名	・チタン溶接受験準備講習会を開始現在に至る	

年度 4月～3月	主な出来事	支部長	団体会員数 (会社・工場)	評価試験 試験会場 受験者数	その他の主な事業	全国溶接技術競技会 神奈川県代表 優勝者
平成1年 (1989年)		隈部日出夫	348社	5142名	・技術講習『鉄骨構造でのCAD/CAM導入検討講習会』 ・工場見学と実演『日立精工(株) 最近のインバータ アーク溶接機を中心とする実演と工場見学』	
平成2年 (1990年)	機関紙 K&Wの発行開始 現在に至る	隈部日出夫	359社	5755名	・見学会『日鐵溶接工業(株)習志野工場』	
平成3年 (1991年)		隈部日出夫	359社	6362名	・講演会『ろう付けの現状-主としてろうの種類と特性』 ・見学会『三菱重工業(株)相模原製作所』	
平成4年 (1992年)		隈部日出夫	360社	6568名	・技術講習会『鉄骨溶接施工マニュアル講習会』 ・見学会『東急車輛製造(株)』	三菱電機(株)鎌倉製作所 手溶接 伊牟田拓司 (株)東芝京浜事業所 半自動溶接 田村雅信
平成5年 (1993年)		池田 健治	368社	6788名	・講演会『日本の鉄の歴史』 ・見学会『在原製作所(株)藤沢工場』	三菱電機(株)鎌倉製作所 手溶接 佐久間博章
平成6年 (1994年)		池田 健治	374社	7245名	・講演会・見学会『最近のアーカ溶接機について』 ・見学会『新日本製鉄(株)鉄鋼研究所』	
平成7年 (1995年)		池田 健治	373社	6941名	・講演会・見学会『最近の溶接材料について』 ・見学会『日本鋼管(株)鶴見事業所』	
平成8年 (1996年)		相原 正公		7126名	・講演会・見学会『最近の自動溶接システムについて』 ・見学会『全日空羽田メンテナンスセンター』	
平成9年 (1997年)		相原 正公	364社	7502名	・見学会『住友重機械工業(株)横須賀造船所』 ・講演会『ステンレス鋼溶接の実際とその応用』 ・講演会『アルミ及びステンレス鋼薄板構造物の自動溶接施工について』	
平成10年 (1998年)		相原 正公	358社	7023名	・講演会・見学会『橋梁製作工法と溶接工法について』	
平成11年 (1999年)		相原 正公	336社	6935名	・講演会・見学会『最近のレーザー加工技術について』	
平成12年 (2000年)		相原 正公	406社	6090名	・講演会・見学会『メガフロートの洋上接合技術』 ・講演会『ステンレス鋼とチタンの溶接技術の実際とその応用』	
平成13年 (2001年)	全国溶接技術競技会を横浜 三菱重工業(株)横浜製作所で開催	相原 正公	446社	6162名	・講演会・見学会『溶接技能伝承に於けるIT化の試み』	(株)東芝京浜事業所 手溶接 荒矢富成

年度 4月～3月	主な出来事	支部長	団体会員数 (会社・工場)	評価試験 試験会場 受験者数	その他の主な事業	全国溶接技術競技会 神奈川県代表 優勝者
平成14年 (2002年)		相原 正公	453社	5820名	・講演会『すぐ役立つ易しい溶接技術』 ・講演会・見学会『最近に於ける自動車溶接の自動化状況について』	
平成15年 (2003年)		相原 正公	442社	5474名	・見学会『ものづくり先端技術研究センター・つくば宇宙センター』	三菱重工業(株)横浜製作所 半自動溶接 鈴木淳一
平成16年 (2004年)		相原 正公	449社	5122名	・講演会『ガスシールドアーク溶接の基礎と実際』 ・見学会『日本ウエルディング・ロッド(株)浜北製造所』	
平成17年 (2005年)	4月、ホームページを開設	相原 正公	447社	5482名	・講演会『ステンレス鋼溶接に於けるトラブル事例と原因・対策』 ・見学会『住友重機械マリンエンジニアリング(株)・ 日産自動車(株)追浜工場・海洋開発研究機構』	
平成18年 (2006年)		相原 正公	442社	5515名	・講演会『溶接構造物に関する設計・施工・検査技術のポイント』 ・見学会『海上技術安全研究所・日野自動車(株)日野工場』	石川島播磨重工業(株) 横浜第1工場 手溶接 柳内信吾
平成19年 (2007年)	創立50周年記念式典	村上 秀夫				
平成21年 (2009年)		村上 秀夫			平成21年4月1日一般社団法人神奈川県溶接協会に移行	
平成20年以降は今後追加予定です。						

平成21年4月～(社)日本溶接協会協会神奈川県支部は一般社団法人神奈川県溶接協会になりましたので平成21年4月から支部長
は
会長になりました。

支部長/会長	任期
柴田 晴彦	昭和32年～昭和33年度
	1期(2年)
三上 博	昭和34年昭和63年
	15期(30年)
隈部日出夫	平成1年～平成4年
	2期(4年)
池田 健治	平成5年～平成7年
	1期半(3年)
相原 正公	平成8年～平成18年
	5期半(11年)
村上 秀夫	平成18年～平成24年
	3期(6年)
平野 賢治	平成25年～現在

備考 任期の1期は2年です

評価試験会場 (定期試験)	・全国溶接競技会 神奈川県開催
1. 神奈川県工業試験場 昭和32年～昭和55年まで	1. 昭和35年 神奈川県総合職業訓練所
2. (社)日本溶接協会溶接技術中央検定場 昭和56年～現在に至る	2. 昭和48年 三菱重工業(株)横浜製作所
3. (財)日本溶接技術センター 昭和56年～現在に至る	3. 昭和51年 新日本製鉄(株)製品技術研究所
4. 日立精工(株)現日立ピアエンジニアリング(株) 昭和59年～平成21年2月 終了	4. 昭和57年 溶接技術中央検定場
	5. 平成13年 三菱重工業(株)横浜製作所

平成21年より一般社団法人神奈川県溶接協会となる

年度 4月～3月	主な出来事	会 長	会員数	受験者数	
平成21年 (2009年)	<p>(社)日本溶接協会神奈川県支部を法人化して 一般社団法人神奈川県溶接協会となる。 支部長の呼称はなくなり 代表理事 会長となる。</p> <p>* 第1回神奈川県高校生溶接コンクールを開催する</p>	村上秀夫	433社	6435名	<p>* 平成21年4月1日一般社団法人神奈川県溶接協会に移行</p> <p>・講演会 『溶接・切断の安全衛生』 62名 期日 平成22年3月17日 会場 (財)日本溶接技術センター * 元子云 『は及金属工業株式会社・原寸刀研所 発機構東海研究センター』 平成22年3月12日 34名 * 神奈川県工業高校教師、生徒の研修会を開催する。以降毎年継続する * 第1回神奈川県高校生溶接コンクール 以後毎年継続する</p> <p>・『アーク溶接特別教育』 78名 ・『粉じん作業特別教育』 156名</p>
平成22年度 (2010年) *3月11日 東北大地震	<p>* 3月11日 東北大地震起こる 計画停電実施される * 第1回関東甲信越高校生溶接コンクール開催される ・平成22年4月24日(土) ・東京ビックサイト</p>	村上秀夫	420社	5713名	<p>・見学会 『三井造船(株)千葉造船工場・JAL羽田機体整備工場』 参加者 50名 ・講演会 『保全技術者に役立つ溶接技術』 3月17日但し大地震による会場利用不可能につき次年度(5月)に延期 ・第1回関東甲信越高校生溶接コンクールに神奈川県代表選手を派遣する。 以後 毎年継続する</p> <p>・『アーク溶接特別教育』 58名 ・『粉じん作業特別教育』 153名</p>

年度 4月～3月	主な出来事	会 長	会員数	受験者数	
平成23年度 (2011年)		村上秀夫	409社	5893名	<ul style="list-style-type: none"> ・見学会 首都圏外郭放水路 龍Q館 東日本旅客鉄道東京総合車両センター 参加者 45名 ・講演会 『保全技術者に役立つ溶接技術』 平成22年度から延期 参加者 86名 期日 併設23年5月25日 会場 ワークピア横浜 ・講演会 『最新のアーク溶接機・溶接法の現状と動向』 参加者 60名 期日 平成24年3月16日 会場 神奈川産業振興センター ・『アーク溶接特別教育』 60名 ・『粉じん作業特別教育』 101名
平成24年度 (2012年)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神奈川溶協交友会設立 	村上秀夫	402社	6071名	<ul style="list-style-type: none"> * 一般社団法人神奈川県溶接協会の役員・委員・講師・事務局等の現役又はOBによる 交流会を立ち上げ設立総会開催した。 神奈川溶協交友会 期 日 平成24年11月3日(土) 会 場 横浜崎陽軒本店 参加者 58名 ・講演会 『スーパーアロイの特性と溶接』 参加者81名 期日 平成25年2月18日 会場 神奈川産業振興センター (横浜市中区) ・『アーク溶接特別教育』 76名 ・『粉じん作業特別教育』 175名

年度 4月～3月	主な出来事	会 長	会員数	受験者数	
平成25年度 (2013年)	村上会長が退任し 平野会長となる	平野賢治		5635名	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回溶協交友会総会開催 期日 平成25年10月26日(土) ・講演会 『最新の大型構造物について・東京ゲートブリ ッジと東京スカイツリー』 参加者 64名 期 日 平成25年2月18日 会 場 神奈川産業振興センター (横浜市中区) ・見学会 JAXA地球観測センター/ホンダ技研埼玉製作 期 日 平成26年2月26日 参加者 53名 ・『アーク溶接特別教育』 54名 ・『粉じん作業特別教育』 151名